



## 化学物質安全データシート (MSDS)

会 社 株式会社ニチレイバイオサイエンス  
 住 所 東京都中央区築地 6-19-20  
 担当部署 品質保証部  
 電話番号 03 - 3248 - 2208  
 FAX 番号 03 - 3248 - 2243  
 緊急連絡先 同上  
 作 成 2006年5月2日  
 第6改訂 2011年12月7日\*

MSDS No. 427061-(1)~(7)

製品名 **ヒストファイン シンプルステインシリーズ**  
**ER/PgR(MONO)ユニバーサルキット**

製品コード	構成製品名	成分	単一製品, 混合物の区別
<b>427061</b>			
- (1)	第一抗体	0.1%アジ化ナトリウム	混合物
- (2)	陰性コントロール	0.1%アジ化ナトリウム	混合物
- (3)	酵素・第二抗体標識ポリマー	蛋白質と塩類の混合物	蛋白質と塩類の混合物
- (4)	発色基質	3,3'-ジアミノベンジジン 四塩酸塩	混合物
- (5)	基質緩衝液	塩類の混合物*	混合物
- (6)	発色試薬	0.6V/V%過酸化水素	単一物
- (7)	ブロッキング試薬 I	3V/V%過酸化水素	単一物

適用法令：本品は体外診断薬であるため、薬事法に従う  
 成分の一覧及びその他の適用法令

番号		その他の適用法令
1.	0.1%アジ化ナトリウム	非該当 (毒物劇物取締法：毒物(0.1%以下のため適用除外) 労安法：政令第18条の2別表第9の9(1%未満のため適用除外) 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)：別表第一11(1%未満のため適用除外)
2.	蛋白質と塩類の混合物	-
3.	3,3'-ジアミノベンジジン四塩酸塩	非該当 (化学物質管理促進法、労安法、毒物劇物取締法、消防法、化審法)
4.	塩類の混合物*	-
5.	0.6V/V%過酸化水素	労安法：「文書交付の対象となる物質」政令第18条の2別表第9の126(0.1%以上) 毒物劇物取締法：劇物(6%以下のため適用除外)
6.	3V/V%過酸化水素	労安法：「表示の対象となる物質」政令第18条第6号の2(1%以上) 毒物劇物取締法：劇物(6%以下のため適用除外)

火災時の措置

消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させ、火元の燃焼源を断ち、

MSDS No. 427061-(1)~(7)

消火剤を用いて消火する。消火作業は風上から行い、状況に応じて呼吸保護具を着用する。

消火剤 粉末、炭酸ガス、乾燥砂

---

漏洩時の措置

- ・ 付近の着火源となるものを速やかに取り除き、消火用器材を準備する。作業の際にはゴム手袋、防塵マスク、保護眼鏡等を着用し、皮膚に付着したり吸入したりしないようにし、風下で作業をしない。
- ・ 飛散したものは、乾燥砂、土、不燃性吸着剤等に吸収させて、密閉できる空容器に出来るだけ回収し、残りは大量の水を用いて洗い流す。  
この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないように注意する。

---

輸送上の注意

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。容器は直射日光を避け、2-8℃で保存し、輸送する。

---

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには注意して下さい。  
含有量、物理化学的性質の値は保証値ではなく、記載の内容は随時改訂されることがあります。

## 1. 0.1%アジ化ナトリウム

### 物質の特性

単一製品、混合物の区別	混合物		
化学名	-----		
成分及び含有量	アジ化ナトリウムが、0.1%含まれている。		
化学式／分子量	NaN <sub>3</sub> =65.01	化審法公示番号	1-482
CAS No.	26628-22-8		
国連分類	-----*	国連番号	-----*
PRTR 法	1-11 (1%未満適用外)	労働安全衛生法	該当しない

### 危険・有害性の分類

分類の名称	急性毒性物質
危険性	通常状態では危険性はないが、可燃性物質と混合すると発火する可能性がある。
有害性	眼、鼻、のど、気管支粘膜などを刺激して炎症を起こす。吸入、経口摂取により頭痛、吐き気、めまい、血圧低下、知覚障害などを生じる。重症の場合、意識不明、痙攣などを引き起こす可能性がある。
環境影響	-----

---

応急措置

眼に入った場合	直ちに多量の水で 15 分以上洗い流す。直ちに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	付着部または接触部位を水または微温湯を流しながら洗浄した後、石鹼でよく洗い落とす。皮膚に炎症を生じた時は医師の手当てを受ける。
吸入した場合	新鮮な空気の場所に移し、充分うがいさせる。安静保温に努め、直ちに医師の手当てを受ける。呼吸困難又は呼吸が停止しているときは直ちに人工呼吸を行う。また、嘔吐がある場合は頭を横向きにする。
誤飲した場合	意識のある場合は多量の水を飲ませて吐かせ、直ちに医師の手当てを受ける。患者に意識がない場合には、口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてもいけない。

取り扱いおよび保管上の注意

取り扱い

- ・高温物，スパークを避け、保管する。
- ・吸い込んだり、眼，皮膚及び衣類に接触しないように適切な保護具を着用する。
- ・取り扱い場所には局所排気装置を設置する。使用後は容器を密栓する。
- ・漏れ，あふれ，飛散しないようにする。
- ・容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずるなどの粗暴な扱いはしない。

保管

- ・保管場所で使用する電気機器は防爆構造とし、機器類はすべて接地する。
- ・ボイラー等熱源付近や可燃性の近くに置かない。
- ・容器は直射日光を避け、2—8℃で保存する。

暴露防止措置

管理濃度

-----

許容濃度

-----

設備対策

- ・屋内作業場での使用の場合は発生源を密閉化、または局所排気装置を設置する。
- ・取り扱い場所の近くに安全シャワー，手洗い，洗眼設備を設けその位置を明瞭に表示する。

保護具

通常、保護衣、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴等を使用し、状況に応じて、送気マスク、空気呼吸器などを使用する。

物理／化学的性質

外観等

液体。

蒸気比重

-----

沸点

-----

蒸気圧

-----

融点

-----

比重

-----

溶解性

水に可溶。

危険性情報

安定性，反応性

直射日光に不安定。金属との接触により爆発性物質を生成する可能性がある。

有害性情報

急性毒性：経口投与

ラット LD 50 27mg/kg (NaN<sub>3</sub>)

経皮投与 ウサギ

LD 50 20mg/kg (NaN<sub>3</sub>)

慢性毒性

-----

変異原性

-----

がん原性

-----

刺激性

-----

環境影響情報

-----

廃棄上の注意

アジ化ナトリウムは水道管の銅、鉛などと反応して爆発する危険性があるので、本製品を排水管より処分するときは、大量の水と一緒に流す。または、廃棄物業者へ委託して処理する。

2. 蛋白質と塩類の混合物

MSDS 対象外\*

3. 3,3'-ジアミノベンジジン四塩酸塩

物質の特性

単一製品，混合物の区別：混合物

化学名

Biphenyl-3,3',4,4'-tetrayltetra ammonium tetra chloride

成分及び含有量

3,3'-ジアミノベンジジン四塩酸塩を 5V/V%未満含む。

化学式／分子量	C <sub>12</sub> H <sub>14</sub> N <sub>4</sub> · 4ClH = 360. 27		
化審法公示番号	2-419		
CAS No.	7411-49-6 (3, 3' -ジアミノベンジジン四塩酸塩の CAS No. を示す。)		
国連分類	-----	国連番号	-----
PRTR 法	該当しない。	労働安全衛生法	該当しない。

危険・有害性の分類

分類の名称	分類基準に該当しない。
危険性	データなし。
有害性	飲み込んだり、吸入したり、あるいは皮膚に触れると有害である。
環境影響	データなし。

応急措置

眼に入った場合	直ちに多量の水で 15 分以上洗い流す。直ちに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	付着部または接触部位を水または微温湯を流しながら洗浄した後、石鹼でよく洗い落とす。皮膚に炎症を生じた時は医師の手当てを受ける。
吸入した場合	新鮮な空気の場所に移し、充分うがいをさせる。安静保温に努め、直ちに医師の手当てを受ける。呼吸困難又は呼吸が停止しているときは直ちに人工呼吸を行う。また、嘔吐がある場合は頭を横向きにする。
誤飲した場合	意識のある場合は多量の水を飲ませて吐かせ、直ちに医師の手当てを受ける。患者に意識がない場合には、口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてもいけない。

取り扱いおよび保管上の注意

取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に接触しないように適切な保護具を着用する。</li> <li>・取り扱い場所には局所排気装置を設置する。使用後は容器を密栓する。</li> <li>・漏れ、あふれ、飛散しないようにする。</li> <li>・容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずるなどの粗暴な扱いはしない。</li> </ul>
保管	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポイラー等熱源付近や可燃性の近くに置かない。</li> <li>・容器は直射日光を避け、2-8℃で保存する。</li> </ul>

暴露防止措置

管理濃度	-----
許容濃度	-----
設備対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋内作業場での使用の場合は発生源を密閉化、または局所排気装置を設置する。</li> <li>・取り扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設けその位置を明瞭に表示する。</li> </ul>
保護具	通常、保護衣、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴等を使用し、状況に応じて、送気マスク、空気呼吸器などを使用する。

物理／化学的性質

外観等	液体。	蒸気比重	-----
沸点	-----	蒸気圧	-----
融点	-----	比重	-----
溶解性	水に可溶。		

危険性情報

安定性, 反応性 通常状態では安定な個体である。光、湿気、直射日光に不安定。強酸化物と不可逆反応を起こす。着火源により、燃焼する可能性がある。

有害性情報

急性毒性 ----- 経皮投与 -----  
 慢性毒性 ----- 変異原性 -----  
 がん原性 マウス（経口）TDLo 260g/Kg/78W: 肺や胸部に腫瘍形成  
 マウス（経口）TDL 520g/Kg/78W: 肺や胸部に腫瘍形成  
 ラット（経口）TDLo 260g/Kg/78W: 肝臓に腫瘍形成  
 刺激性 -----  
 環境影響情報 -----

廃棄上の注意 廃棄物業者へ委託して処理する。

4. 塩類の混合物\*  
MSDS 対象外


5. 0.6V/V%過酸化水素  
物質の特性

単一製品, 混合物の区別 : 単一物  
 化学名 -----  
 成分及び含有量 過酸化水素が 0.6V/V%含まれている。  
 化学式/分子量 H<sub>2</sub>O<sub>2</sub>=34.01  
 化審法公示番号 2-419  
 CAS No. 7722-84-1(過酸化水素の CAS No. を示す。)  
 国連分類 ----- 国連番号 -----\*  
 PRTR 法 該当しない。 労働安全衛生法 該当する。

6. 3V/V%過酸化水素  
物質の特性

単一製品, 混合物の区別 : 単一物  
 化学名 -----  
 成分及び含有量 過酸化水素が 3V/V%含まれている。  
 化学式/分子量 H<sub>2</sub>O<sub>2</sub>=34.01  
 化審法公示番号 2-419  
 CAS No. 7722-84-1(過酸化水素の CAS No. を示す。)  
 国連分類 ----- 国連番号 -----\*  
 PRTR 法 該当しない。 労働安全衛生法 該当する。

1. 化学物質等	化学物質等の名称	過酸化水素	
2. 危険有害性の要約	GHS 分類		
	物理化学的危険性		
	酸化性液体	区分 1	
	健康に対する有害性		
	急性毒性（経口）	区分 4	急性毒性（経皮） 区分 5
	急性毒性（吸入：蒸気）	区分 3	皮膚腐食性・刺激性 区分 1A-1C
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性		区分 1	
生殖毒性	区分 2		

	<p>特定標的臓器・全身毒性(単回暴露) 区分1(呼吸器・中枢神経系)          特定標的臓器・全身毒性(反復暴露) 区分1(肺)・区分2(血液)  <b>環境に対する有害性</b>          水生環境急性有害性 区分2</p>
<p>3. ラベル要素</p>	<p><b>絵表示又はシンボル：</b></p>  <p><b>注意喚起語：</b> 危険</p> <p><b>危険有害性情報：</b></p> <p>火災又は爆発のおそれ；強酸化性 飲み込むと有害（経口）          皮膚に接触すると有害のおそれ（経皮） 吸入すると有毒（蒸気）          重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷 重篤な眼の損傷          生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い 呼吸器・中枢神経系の障害          長期又は反復暴露による肺の障害、長期又は反復暴露による血液の障害のおそれ          水生生物に毒性</p>
<p>4. 注意書き：</p>	<p><b>【安全対策】</b> すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。使用前に取扱説明書入手すること。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。熱から遠ざけること。火傷を防ぐ保護衣を着用すること。個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。衣類及び他の可燃物から遠ざけること。環境への放出を避けること。</p> <p><b>【救急処置】</b> 火災の場合には適切な消火方法をとること。大火災及び大量の場合：区域より退避させ、爆発の危険性により遠くから消火すること。吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。飲み込んだ場合：口をすすぐこと。眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。衣類にかかった場合、直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。衣類にかかった場合：服を脱ぐ前に、直ちに汚染された衣類及び皮膚を多量の水で洗うこと。汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。ばく露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。口をすすぐこと。眼に入った場合、直ちに医師の診断、手当てを受けること。気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。吸入した場合、直ちに医師の診断、手当てを受けること。</p> <p><b>【保管】</b> 可燃物、その他の禁忌物質から離して保管すること。容器を密閉して換気の良い場所で施錠して保管すること。</p> <p><b>【廃棄】</b> 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。</p>